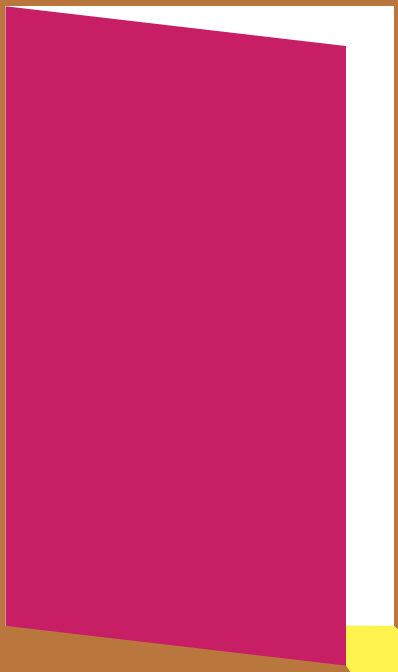
HIVとエイズの予防と治療について、
U=UやPrEPやコンドームについて、
検査はどこで受けられるの？
まずは話してみよう、聞いてみよう。
大切なことはきっと、人と人の間にあります。

あなたの話を聞かせてください



公益財団法人エイズ予防財団
Japan Foundation for AIDS Prevention

扉はいつも開いています

「あなたの話を聞かせてください」
相手に話を促すわけではなく、ましてや強要するわけでもありません。
話をしたいというニーズが生まれたときに、話を聞ける扉を開けておく。
本年度のメッセージは、そうした姿勢を示しています。

40年を超えるエイズ対策史の中でも話を聞くことは重視されてきました。
日本で最初にエイズ電話相談が始まったのは1985年です。
無料匿名の電話相談はいまも全国で続けられ、経験も人材も蓄積されています。

社会的な不安やスティグマを回避しつつ、
話ができる機会、声を聞く機会が設けられてきました。
毎年の日本エイズ学会では、HIV陽性の人が体験を語る
「POSITIVE TALK」というプログラムがあります。

2025年11月に改正された
エイズ予防指針（後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針）では、
真っ先に「人権の尊重」が掲げられています。
伝えたいと思ったときに聞いてもらえる場所が用意され、
話をしてもいい、話を聞きたいという空気が社会に広がる。
その蓄積をいま生かしてください。

12月1日は世界エイズデー

API-Net

相談先リスト